

## 講座 III

# 組織強化・拡大



全消協は1977年8月に36組織2千5百人でスタート、今や189組織1万3千人あまりと大きく成長が、それでも全消防職員15万人の**1割弱**とまだまだ少数派です。

我々の悲願である団結権回復にむけ、**真の全消防職員の代表となるため、団結権を有するにふさわしい組織になるため**には、**組織強化・拡大が急務**であり、これまでの**組織強化拡大活動を見直す必要**があります。

# 組織強化・拡大方針及びアクションプランの取 り組み経過

- 2010年7月に開催した単協代表者会議で、組織・財政確立のための中長期課題及び組織強化への取り組みへの考え方を提示
- 2010年9月6日に開催された第34回定期総会第1号議案「2011年度の当面の活動方針」を基本とした、「新組織強化・拡大計画」と「組織・財政確立のための中長期課題および組織強化・拡大への取り組みに向けた考え方」を提議

- 2011年11月24日**組織強化・拡大方針及びアクションプランを提案**
- **全消協、県消協、単協が一体となり、計画的な組織強化・拡大活動を展開するとともに、成果を検証して全消協総体での取り組みを行っている。**

# 自治労

## 「消防職員の団結権獲得にむけた組織化の推進」

- 自治労は2010年からむこう3年間に未組織消防（協議会のない消防）の組織化（協議会結成）取り組みを本格化することを決定。
- 自治労本部に消防組織化対策本部を設置
- 各県に各県消防組織化対策委員会を設置
- 消防組織化対策担当者を配置
- 当局対策
- 他・・・具体的計画策定を各県本部へ指示、さらに計画実行を指導。

# 3年間のこれまでの組織化実績

- 2012年 泊消防職員協議会（北海道）
- // 大子町消防職員協議会（茨城）
- // 大竹市消防職員協議会（広島）
- // 志摩消防職員協議会（三重）
- 2013年 徳之島地区消防職員協議会  
（鹿児島）
- // 知内消防研究会（北海道）
- // 有田町消防職員協議会（佐賀）

2013年 松坂地区広域消防組合消防職員協  
議会（三重）

// 大島地区消防行政研究会  
（鹿児島）

# 今後の組織強化拡大は . . .

・ これからの組織強化拡大は団結権回復を踏まえ、未組織消防の組織化はもちろん、組織整理（自治労への加入、会費の労組並み引き上げなど）、関係機関への積極的参加、若年層対策、男女参画、リーダー育成など様々な課題があります。よってこれまで以上により活発な活動と、執行部の責任と活動遂行能力が求められます。





# 今後 . . .

- 公務員制度改革の実施→**消防職員団結権回復**
- 労働基本権回復と同時に人事院の廃止（？）
- 人事院廃止＝労使交渉の結果で労働条件が決定
- 労働者が過半数加入する労働組合が必須！
- 組織拡大を狙う競合する組織の存在

**国会解散のため廃案 . . .**

# 会員が過半数満たないとどうなる？

- ・労働基準法の「第四章 労働時間、休憩、休日及び年次有給休暇」中に「労働者の過半数で組織する労働組合、労働者の過半数で組織する労働組合がない場合には労働者の過半数を代表する者」という文言があります。
- ・職員の過半数が加入する組織でなければ、職員の代表として認められず、書面による協定も結べない。

未加入職員の加入促進を！

# 過半数組合とは・・・

- ・ 管理職等を含めた全ての労働者数を分母に計算します。

過半数組合の計算式

組合(協議会)員数

管理職員

+

正規職員

+

臨時・非常勤等職員

+

再任用・再雇用職員

> 50%

2014年度 全国消防職員協議会

# 組織強化

# 協議会活動を担う人材の育成

- **消防職場における労働問題の自主的解決能力の向上や職場の改善に役立ち、将来においての各単協及び全消協運動を活性化し、中心的役割を担っていく人材を育成するために労働講座を開催してきた。**
- **全消協労働講座は12月のみ開催。**
- **3月は「リーダーセミナー」と題して各単協の会長、事務局長クラスを対象とした講座を開催。**

# 各県消協や各単協で人材育成

- 労働講座縮小を補完するために、各県消協や各単協で労働講座的な学習会を定期開催し、人材育成の積極的推進する必要がある。



# ユース世代活動の推進

- **全消協結成37年の歴史の伝承が急務**
- **ユース世代の成長と活躍で組織の活性化**
- **活動の継承と発展のため将来を担う人材育成**
  
- **第35回全消協定期総会でユース部設置を承認**
  
- **全国9ブロックからユースブロック代表を選出**

# ユース部設置後の取り組み

- **次世代のリーダー育成**
- **ユース世代特有の課題の解決**
  
- **あらゆる活動へユース世代の30%参加**
- **自治労等他産別の青年層と交流による人材育成**
- **県消協や各単協にユース部設置の推奨**



- 2014年度 全国消防職員協議会

組 織 拡 大

# 2014年度活動方針から

- 私たちが目指す団結権回復に向けて再び行動するため、これまでの組織化運動を検証し、組織化運動を継続する必要がある。
- 協議会活動の必要性を訴えるとともに、消防職場の問題と課題の克服に向けたオルグを展開
- 自治労本部、自治労各県本部、県消協、単協と協力し、未組織消防職場へのアプローチや情報提供が必要。

# オルグ活動の点検

これまでのオルグ活動の検証。

- 中心人物の発掘方法は？（年齢や階級にとらわれてないか？）
- オルガナイザーと未組織消防職員の思考や年齢その他のギャップはないか？
- 女性連絡会や青年部（ユース部）の活用はしているか？
- 未組織消防の全消協に対するニーズは把握しているか？
- 結成のタイミングを見逃していないか？

**鉄は熱いうちに打て！**

# 未組織消防職員が求めているものは？

- **職場に問題や不満があるようならば、その内容を十分把握する。**
- **当然、問題に対しアドバイスできる知識と情報を持つ必要あり。**
- **問題や不満がなければ、今後の消防広域化や団結権問題など最新の情報を土産話に！**

**オルグ活動は営業活動！**

# 自治労との連携

- **未組織消防の構成市町村自治労単組との、協力体制を構築。**
- **自治労県本部の消防組織化対策本部との連携。**
- **自治労単組を通じ、スポーツやレクリエーション活動、学習会などの参加呼びかけ。**
- **自治労との団結権回復後に向けた意見交換。**

**団結こそ力！**

# 競合組織の存在・・・

- 全労連系組織

## 「消防職員ネットワーク」

- 京都府、愛知県、千葉県、埼玉県、愛媛県、高知県、岡山県、福岡県に組織化。
- 個人加入も可能 （全消協は不可）



Fire Fighters Network

- 全労連・自治労連の方針にもとづき、全労連系の消防職員の自主組織として「消防職員ネットワーク」が結成されています。消防職員ネットワークの存在により、消防職場に労働組合の競合問題を引き起こすことが想定されます。
- 消防職員ネットワークは個人加盟が可能であり、消防本部に会員がいた場合、消防協単協の結成にあたっては、地域によって個人会員によって陰に陽に妨害工作をされる危険性もあります。当局とは、消防職員ネットワークの存在について問題を共有し、組織化を進める必要があります。

# グループワーク

- こんなオルグをやってみたいなどのアイデア
- みなさんは「協議会活動」を楽しんでる？
- 協議会活動の魅力ってなんだろう？
- その魅力をどうしたら伝えられる？
- 自分たちの考える組織強化拡大対策
- 各県消協や各単協でやっているオルグ報告

● ● ● **自由な発想で意見を出してみよう！**



# 最後に . . .

- **一人で出来ることには限界があります。**
- **仲間を作り、問題を共有することで道が開けます。**
- **動かなければ何も変わらない。動けば何かが変わります。**
- **全消協が皆さんの支援します。**
- **また全消協はみなさんのパワーに期待しています。**

- **労働講座で学んだこと、仲間との交流から得た情報を地元を持ち帰り、どうしますか？**
- **単協、職場に帰ったら会員や職員間で知識と情報を共有しましょう！**
- **みなさんが講師となって学習会を開催してみてもはどうですか？**
- **まずは行動あるのみ！**
- **全消協は活動するみなさんを応援しています。**